

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	十文字学園女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ジュウモンジガクエンジョシダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	関東地方(東京都を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ、インターンシップ短期
	学部・研究科等名	人間生活学部
	担当教職員名・役職	安達 一寿・教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	110
	受入企業等数	62
	受入企業等名	アズビル金門(株)、(株)日本デイケアセンター、(有)ザ・ライトスタッフオフィス、(株)三笠会館、和光市役所、(株)エムエスデー、キッザニア東京、(株)埼玉新聞社、(株)悟空出版、(株)トップシーン、(有)新座観光トラベル、(株)ウイズダムアカデミー、(株)サンエー・インターナショナル、(株)ナルミヤ・インターナショナル、(株)ホテルグランドパレス、(株)アマゾンラテルナ、日本事務器(株)、新座市役所、志木市役所、荒川区役所、(株)りそな銀行、(株)キッズベースキャンプ、巢鴨信用金庫、東京信用金庫、東海東京証券、朝日信用金庫、リコージャパン(株)、理研計器(株)、池田総合会計事務所、(株)ルネサスイーストン、(株)エム・オー・シー、夢科情報(株)、セコムトラストシステムズ(株)、(株)ニッセイコム、(株)エルアイン、(株)マツモト交商、燦クリーン(株)、関東グリコ(株)、(株)東和エンジニアリング、(株)映像センター、埼玉トヨタ自動車(株)、(株)谷澤総合コンサルタント、(株)興文堂、(株)スターランドコミュニケーション、(株)ジェイコムさいたま等(順不同)
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	グループ編成され、チームでリーフレットを作成し発表を行った。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次から3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位又は2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学においてインターンシップは、キャリア教育科目の選択科目として1年生から3年生を対象に実施している。夏期休暇中(前期)または春季休暇中(後期)を中心に、同一企業において、長期インターンシップは約2週間、短期インターンシップは約1週間の実習を行う。あくまでも授業の一環として行われるものであり、無報酬が原則である。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	原則としてインターンシップ準備講座に出席することを義務付けている。業界研究、ビジネスマナー、4年生による体験報告、企業・公官庁等ゲストからの学び等全4回を実施し、インターンシップに参加する意義、体験の機会を得られるよう準備している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	レポートの提出及びパワーポイントによる報告会において、成果発表を行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	2週間以上のインターンシップについては、教員がインターンシップ実施期間中に巡回し、受け入れ先責任者や学生と面談して、実習状況を確認している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	単位化しているインターンシップにおいては、選考会を実施し、学生の選出を行っている。インターンシップ終了後はレポート及び報告会によって、学生の意識や行動の変化を客観的に把握している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	長期インターンシップは和光市役所他17の公官庁や企業で約2週間(実質10日間、実労60時間以上)、短期インターンシップは新座市役所他49の公官庁や企業で約1週間(実質5日間、実労35時間以上)の実習を行っている。※長期と短期双方に跨る企業があるため、企業数は重複している
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先企業には評価表の作成を依頼している。学生個々に対して、1.勤務態度・4項目、2.業務への熱意・4項目、3.業務の理解・4項目の夫々に対して、S・A・B・C・Dのランク評価と具体的所見、更に総合ランク評価と担当責任者による総合評価を実施している。また、要望や意見も求めて今後の活動に役立てている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	十文字学園女子大学
	担当部署名	就職支援部
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	048-489-1271
	メールアドレス	career@jumonji-u.ac.jp